

# 本 文

## 官 報

昭和十六年十二月二十三日  
第四百八十九號 火曜日

### 法 律

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル敵産  
管理法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ  
シム

#### 御 名 御 璽

昭和十六年十二月二十二日  
内閣總理大臣 東條 英機  
大 藏 大 臣 賀屋 興宣

法律第九十九號

敵産管理法

第一條 政府ハ必要アルトキハ敵産ニ關シ  
管理人ヲ選任シ之ヲ管理セシムルコトヲ  
得  
本法ニ於テ敵産トハ敵國、敵國人其ノ他  
命令ヲ以テ定ムル者ニ屬シ又ハ其ノ者ノ  
保管スル財産(事業若ハ營業又ハ之ニ對  
スル出資ヲ含ム)ヲ謂フ  
第二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ敵産  
ニ關シ政府ノ指定スル者ニ對スル實効其ノ  
他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三條 敵國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定  
ムル者ニ對シ債務ヲ負擔スル者ハ政府ノ  
指定スル者ニ對シ前條ノ規定ニ基キテ發  
スル命令又ハ當該命令ニ依ル政府ノ命ニ  
依リ債權ノ目的物タル金錢又ハ物ノ支拂  
又ハ引渡ヲ爲シタルトキハ其ノ債務ヲ免  
ル

第四條 敵國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定  
ムル者ハ其ノ者ニ屬シ又ハ其ノ者ノ保管  
スル財産(事業若ハ營業又ハ之ニ對スル  
出資ヲ含ム)ガ第一條第一項ノ管理ニ付  
セラレタルトキハ其ノ財産(事業若ハ營  
業又ハ之ニ對スル出資ヲ含ム)ニ關シ處  
分其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ  
前項ノ規定スルモノノ外第一條第一項ノ  
管理及管理人ニ關シ必要ナル事項ハ命令  
ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 敵國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定  
ムル者ノ外國ニ於テ爲ス行爲ニシテ左ニ  
掲グルモノノ取得又ハ處分ノ目的トスル  
モノハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其  
ノ效力ヲ生ゼズ  
一 本邦内ニ在ル不動産又ハ不動産  
二 本邦内ニ在ル事業若ハ營業又ハ之ニ  
對スル出資  
三 本邦證券

四 本邦又ハ本邦内ニ在ル者ニ對スル債  
權

第六條 第一條第一項ノ規定ニ依リ管理セ  
シムル敵産ニシテ登記又ハ登録ノ規定ア  
ルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ管  
理ニ關スル登記又ハ登録ヲ爲スコトヲ要  
ス  
第七條 第一條第一項ノ管理ニ要スル費用  
ハ本人ニ屬スル敵産ヲ以テ之ヲ支辨スル  
コトヲ得

第八條 第一條第一項ノ管理ヲ免レ又ハ之  
ヲ妨グル目的ヲ以テ敵産ヲ取得處分隱  
匿毀棄又ハ損壞シタル者ハ五年以下ノ  
懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス但シ當  
該敵産ノ價額ノ三倍ガ一萬圓ヲ超ユルト  
キハ罰金ハ當該價額ノ三倍以下トス  
前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス  
第九條 第二條ノ規定ニ基キテ發スル命令  
又ハ當該命令ニ依ル政府ノ命ニ從ハザル  
者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰  
金ニ處ス  
第十條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代  
理人、使用人其ノ他ノ從業者若ハ人ノ代  
理人ハ業務ニ關シテ前二條ノ違反行爲  
ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其  
ノ法人又ハ人ニ對シ亦前二條ノ罰金刑ヲ  
科ス

第十一條 本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ  
付政府ノ諮問ニ應ズル爲敵産管理委員會

附 則  
本法ノ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和十六年十二月八日以後本法施行前敵  
國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ノ外國  
ニ於テ爲シタル行爲ニシテ第五條ニ掲グル  
モノノ取得又ハ處分ヲ目的トスルモノハ行  
爲ノ時ニ選リテ之ヲ無効トス

勅 令

昭和十六年十二月二十二日  
内閣總理大臣 東條 英機  
折 務 大 臣 井野 碩哉

#### 御 名 御 璽

勅令第四百七十八號  
敵産管理法ハ第十一條ノ規定ヲ除クノ外之  
ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス  
附 則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕敵產管理法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十六年十二月二十二日
內閣總理大臣 東條 英機
拓務大臣 井野 碩哉
大藏大臣 賀屋 興宣

勅令第四百七十九號

敵產管理法施行令

第一條 敵產管理法及本令ニ規定スル敵國ハ大藏大臣之ヲ告示ス
第二條 敵產管理法及本令ニ於テ敵國人トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ
一 敵國ノ國籍ヲ有スル個人日本ノ國籍ヲ有スル個人ヲ除ク
二 敵國ノ公共團體及之ニ準ズルモノ
三 敵國內ニ本店又ハ主たる事務所ヲ有スル法人
四 敵國ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ前號ニ該當セザルモノ
第三條 敵產管理法第一條第二項第一條第四條第一項第五條ハ附則第二項ノ規定ニ依リ定ムル者ハ左ニ掲グル者(第一號乃至第三號ニ掲グル者ニシテ大藏大臣ノ指定スルモノヲ除ク)トス
一 敵國內ニ居住スル個人
二 法人ノ敵國內ニ在ル支店其ノ他ノ營業所
三 法人以外ノ法人ニシテ社員株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半数以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半数ヲ敵國ノ個人又ハ敵國內ニ居住スル個人ニ屬スルモノ

昭和十六年十二月二十二日
內閣總理大臣 東條 英機
拓務大臣 井野 碩哉
大藏大臣 賀屋 興宣

御名御璽

朕南洋群島ニ於テ爾敵產ノ管理ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
勅令第四百八十一號
昭和十六年法律第九十八號(昭和十六年十二月十四日ヨリ之ヲ施行ス)
內閣總理大臣 東條 英機
司法大臣 岩村 通世

省令

大藏省令第七十六號

敵產管理法施行規則

昭和十六年十二月二十三日

大藏大臣 賀屋 興宣

敵產管理法施行規則

第一條 敵產管理法第一條第一項ノ規定ニ依リ敵產ノ管理ハ當該敵產ニ付敵產管理人ノ選任ヲタル日ヨリ開始ス

第二條 敵產管理人ハ當該敵產管理ノ事務ヲ執行スル者トシテ其ノ職務ニ必要ナル技能及知識ヲ有スル者トシテ選任スルベシ但シ當該敵產ニ付債權又ハ留權有テスル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 敵國ノ個人又ハ法人又ハ團體又ハ組合第一項各號ニ掲グル者ハ當該敵國ノ個人又ハ法人又ハ團體ノ代表者トシテ選任スルベシ但シ當該敵國ノ個人又ハ法人又ハ團體ノ代表者トシテ選任スルベシ

第四條 敵產管理人ハ管理開始後遅滞ナク其ノ管理ニ關シテ必要ナル報告書式第一號ニ依リ作成シ大藏大臣ニ提出スベシ

第五條 敵產管理人ハ管理開始後遅滞ナク其ノ管理ニ關シテ必要ナル報告書式第一號ニ依リ作成シ大藏大臣ニ提出スベシ

第六條 敵產管理人ハ管理開始後遅滞ナク其ノ管理ニ關シテ必要ナル報告書式第一號ニ依リ作成シ大藏大臣ニ提出スベシ

第五條

敵產管理人ハ債權ヲ擔付ケ其ノ管理ニ付テラレタル敵產ノ管理ニ付必要ナル事項ヲ記載スベシ
第六條 敵產管理法第十條ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ指定スル者ニ實却スベキコトヲ命ジタル場合ノ賣却價額ハ大藏大臣之ヲ決定スルコトヲ得
第七條 敵產管理法第五條ノ規定ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書正副三通ヲ作成シ最寄ノ地ニ所在スル日本ノ大使公使若ハ領事又ハ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ
一 申請者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
二 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
三 取得又ハ處分スル財產ノ種類、數量、價額及所在地
四 取得又ハ處分ノ目的、其他之ヲ必要トスル事由
五 取得又ハ處分ノ原因及方法
六 對價タル通貨其ノ他ノ財產、種類、數量、價額及所在地
七 取得又ハ處分ノ時期
八 取得又ハ處分ノ時期
九 其ノ他參照トナルべき事項

第八條 大藏大臣ハ必要アルトキハ本令ニ定ムルモノノ外報告書式第一號及本令ニ定ムル報告ヲ免除スルコトヲ得
附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

南洋群島ニ於テ爾敵產ノ管理ニ關スル件

第一條

南洋群島ニ於テ爾敵產ノ管理ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第四百八十一號

昭和十六年法律第九十八號

昭和十六年十二月十四日ヨリ之ヲ施行ス

內閣總理大臣 東條 英機

司法大臣 岩村 通世

管理財產目錄

Table with columns: 種類 (Type), 所在地 (Location), 數目 (Quantity), 單價 (Unit Price), 金額 (Amount), 財産ノ狀況 (Status of Property), 備考 (Remarks)

1. 本報告書ニ關シテ必要ナル事項ハ左ニ掲グルニ依リ記載スルベシ
2. 個人財産ニ在リテハ世帯毎ニ別ニ記載スルコトヲ得
3. 債權ノ種類ニ依リ債權ノ種類ニ依リ記載スルコトヲ得
4. 種類ノ別ニ依リ債權ノ種類ニ依リ記載スルコトヲ得

